

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その1) (単位:千円)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街						
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備						
施策の基本方針	阪神・淡路大震災に代表される都市型大規模地震、集中豪雨や台風による大規模な洪水・土砂災害などから、市民生活の安全・安心を守るため、自主防災活動の充実を通して地域の防災力を高めます。また、被災時の避難場所や応急活動の拠点となる公共施設の計画的な耐震改修や、災害時の非常通信を確保する防災行政無線の整備など、地域住民等と行政との協働による計画的な災害対策を講じ、災害に強い都市づくりを推進します。							
計画事業の実施状況								
施策番号	事業名	計画事業費	実績事業費				合計	進捗率(%)
			19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)		
1	自主防災活動の推進	72,000	16,704	17,199	16,244	9,900	60,047	83.4
1	簡易型災害図上訓練(DIG)への支援	5,000	280	2,761	820	900	4,761	95.2
1	災害時要援護者避難支援対策	12,000	4,326	1,664	2,712	2,800	11,502	95.9
2	地震等防災対策の充実と避難体制の強化	95,000	42,420	26,103	9,522	12,700	90,745	95.5
2	防災行政無線拡充整備	288,000	5,900	99,144	149,171	0	254,215	88.3
2	防災情報伝達モデル等推進事業	3,000	283	1,260	1,208	0	2,751	91.7
2	雨に強いまちづくり	897,000	2,489	36,969	14,066	575,171	628,695	70.1
2	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業	311,000	0	4,932	107,605	0	112,537	36.2
2	緊急貯水槽等整備事業	1,119,000	453,266	563,979	222,289	0	1,239,534	110.8
3	市有建築物耐震化推進事業	78,000	13,492	12,497	19,201	11,300	56,490	72.4
3	区役所施設等耐震補強事業	1,025,000	27,142	70,037	59,411	196,563	353,153	34.5
3	学校施設耐震補強事業	5,138,000	284,478	1,306,824	1,163,764	2,645,900	5,400,966	105.1
3	学校改築事業	13,589,000	3,950,172	2,351,457	1,637,478	2,906,780	10,845,887	79.8
3	中央体育館改築事業【再掲】	—	0	0	0	0	0	—
3	中島体育センター耐震改修事業(H20終了)	6,000	179	4,052	0	0	4,231	70.5
3	大通バスセンター耐震化・バリアフリー化等改修事業	300,000	0	39,142	0	0	39,142	13
3	消防施設耐震補強事業	41,000	0	1,437	10,922	0	12,359	30.1
3	災害に強い道づくり事業(橋りょうの耐震化)	2,840,000	756,942	785,200	988,538	1,330,000	3,860,680	135.9
3	札幌市災害時基幹病院へ向かう配水管の耐震化	1,477,000	482,955	445,433	212,098	279,990	1,420,476	96.2
3	下水道施設の耐震化	2,157,000	193,483	870,984	854,870	1,393,416	3,312,753	153.6
3	民間建築物耐震化促進事業	308,000	12,953	22,741	44,799	49,220	129,713	42.1
	(以下余白)							
合計(計画事業費が「—」の事業は除く)		29,761,000	6,247,464	6,663,815	5,514,718	9,414,640	27,840,637	93.5

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その2)

政策目標		4	安全・安心で、人と環境にやさしい街					
重点課題		4	災害に強い安全なまちの整備					
達成目標の状況								
施策番号	項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
1	防災リーダー研修への参加者数		750人	1033人	882人	1,071人	800人	800人
1	簡易型災害図上訓練(DIG)の実施支援回数		18回	17回	52回	54回	100回	100回
1	災害時要援護者避難支援モデル事業実施数(累計)		-	-	2カ所	6カ所	10カ所	10カ所
2	避難勧告等の判断・伝達マニュアル(土砂災害編・洪水災害編)の作成		-	完了(洪水)	完了(土砂)	/	/	完了
2	ハザードマップ(地震・洪水(南区・清田区))の作成・配布		-	-	完了(地震)	基礎調査(洪水)	完了(洪水)	完了
2	防災行政無線整備数(累計)		518基	518基	638基	818基	/	818基 (21年度)
2	防災・危機管理情報伝達システムの整備方針策定		-	-	委員会を設置して検討	整備方針策定	/	完了
2	豊平川貯留管の整備進捗率(累計)		-	-	1%	1%	21%	35%
2	[豊平川札幌地区河川防災ステーション] 水防センター建設		-	-	実施設計	工事完了	/	工事完了
2	緊急貯水槽の設置数(累計)		28カ所	30カ所	31カ所	33カ所	/	33カ所 (21年度)
3	[市有建築物耐震化推進事業] 耐震化に着手した施設数(累計)		4施設	32施設	47施設	61施設	61施設	64施設
3	[区役所施設等]耐震性能の強化(累計)		-	3施設	4施設	4施設	4施設	耐震補強実施
3	耐震性能が著しく低い学校施設(5カ年計画対象施設)の耐震補強着手数(累計)		3校	24校	34校	48校	/	48校
3	耐震性能が低く老朽化が著しい学校施設(5カ年計画対象施設)の改築着手数(累計)		-	2校	3校	4校	/	4校
3	[中央体育館改築]整備計画策定と調査実施		-	立案、調査	調査、建設規模等の検討	調査、建設規模等の検討	計画策定	計画策定と調査完了
3	[中島体育センター]耐震性能の強化		-	実施設計	耐震補強実施	/	/	耐震補強実施 (20年度)
3	大通バスセンター耐震化		-	協議	一部完了	完了	/	完了 (21年度)
3	大通バスセンターバリアフリー化		-	-	-	検討	検討	完了
3	[消防施設]耐震性能の強化(累計)		-	-	1施設	1施設	1施設	耐震補強実施
3	耐震補強実施済橋りょう数(累計)		26橋 (34.7%)	28橋 (37.3%)	34橋 (45.3%)	39橋 (52.0%)	47橋 (62.7%)	45橋 (60%)
3	第1次緊急輸送道路における耐震補強実施済橋りょう数(累計)		11橋(68.8%)	12橋 (75.0%)	15橋 (93.8%)	15橋 (93.8%)	16橋 (100%)	16橋(100%)
3	供給ルートが全て耐震化されている札幌市災害時基幹病院数(累計)		—	1カ所	6カ所	7カ所	12カ所	12カ所
3	重要なマンホール施設の耐震補強済箇所数(累計)		5カ所	8カ所	12カ所	18カ所	28カ所	19カ所
3	汚泥圧送管二条化・ループ化整備率(累計)		62%	64%	64%	66%	66%	66%
3	札幌市耐震改修促進計画の策定		検討	策定	/	/	/	策定 (19年度)
3	札幌市内の住宅の耐震化率		82.8%	-	-	-	-	85.5%
	(以下余白)							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その3)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備
主な取組内容		
施策1	住民等との協働による災害対策	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災資機材の助成 防災資機材90セット購入 ●防災リーダー研修 18回/1,033名 ●防災表彰 市内11団体を表彰 ●自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修) ●簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員養成研修 実施回数:2回 DIG普及員数:48名 <ul style="list-style-type: none"> ●札幌市災害時要援護者支援検討委員会 検討委員会2回 地域支援部会 5回 ●上記ガイドライン及びハンドブックの作成 各4,000部 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災資機材の助成 防災資機材90セット購入 ●防災リーダー研修 17回/882名 ●防災表彰 ●自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修) ●簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員養成研修 実施回数:2回 DIG普及員数:54名 ●DIG普及用パンフレットの作成・配布 80,000部 ●市民に対してDIGを行うための職員用マニュアルの作成 ●災害時要援護者避難支援モデル事業 市内2地区 ●災害時要援護者避難支援対策のための市民向け普及啓発用パンフレット等の作成50,000部 出前講座の実施26回
	21年度(実績)	22年度(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災資機材の助成 防災資機材85セット購入 ●防災リーダー研修 22回/1,071名 ●防災表彰 ●自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修) ●簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員養成研修 実施回数:2回 DIG普及員数:42名 ●「DIGマスター」を養成するための研修実施 1回 ●DIGを行うための資材等支援 ●災害時要援護者避難支援モデル事業 市内4地区 ●災害時要援護者避難支援の取組の普及啓発として、出前講座やフォーラムを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災資機材の助成 防災資機材40セット購入 ●防災リーダー研修 16回/800名 ●防災表彰 ●自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修) ●自主防災活動活性化のためのワークショップを開催 ●防災普及用DVDの作成、貸与 ●簡易型災害図上訓練(DIG)を地域に普及させるための職員養成研修 実施回数:2回 DIG普及員数:60名 ●「DIGマスター」を養成するための研修(1回)を実施するとともに、地域に「DIGマスター」を派遣 ●DIGを行うための資材等支援 ●災害時要援護者避難支援モデル事業 市内4地区 ●災害時要援護者避難支援の取組の普及啓発として、出前講座やフォーラムを実施
施策2	地域防災力の強化	
	19年度(実績)	20年度(実績)
	<ul style="list-style-type: none"> ●石狩低地東縁断層帯の強震動評価や地下構造調査などの最新の知見に基づく、地震動予測及びその結果に基づく被害評価の実施 ●「避難勧告等の判断・伝達マニュアル(洪水編)」の作成 ●札幌市水防計画修正案の作成 ●防災行政無線に係る実施設計の実施 300箇所 ●緊急起動ラジオ購入 25台 <ul style="list-style-type: none"> ●豊平川雨水貯留管及び雨水分水施設の基本設計 ●水防センター基本設計の実施に向けた協議調整 ●緊急貯水槽整備 2カ所新設(厚別公園、明日風公園) ●緊急時給水管路整備 施工延長 1,343m 	<ul style="list-style-type: none"> ●地震ハザードマップの作成 ●地域防災計画(地震対策)の修正に向けた庁内検討体制づくり ●避難勧告等の判断・伝達マニュアル(土砂災害編)の作成 ●土砂災害ハザードマップのモデルパターンの作成 ●防災行政無線の整備工事 120箇所 ●防災・危機管理情報伝達システムの調査・研究 ●豊平川雨水貯留管及び雨水分水施設の実施設計 ●水防センター実施設計の実施 ●緊急貯水槽整備 1カ所新設(新陵小学校) ●緊急時給水管路整備 施工延長 1,122m
	21年度(実績)	22年度(予定)
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災計画(地震災害対策編)の修正素案を作成した。 ●地震ハザードマップの普及啓発を兼ねた地震防災シンポジウムの開催 ●中小河川を対象とした洪水ハザードマップ作成に向けた調査研究 ●防災行政無線の整備工事 180箇所 ●「防災・危機管理情報伝達システムの整備方針」を策定した。 ●豊平川雨水貯留管及び雨水分水施設の新設工事 ●水防センターの建設工事完了及び河川防災ステーション平常時利活用プログラムの策定 ●緊急貯水槽整備 2カ所新設(北郷小学校、札幌東公園) ●緊急時給水管路の遮断弁操作盤設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災計画(地震災害対策編)の計画修正実施。 ●中小河川ハザードマップの作成 ●「防災・危機管理情報伝達システムの整備方針」に基づき、地域特性にあったシステムの調査、研究。 ●豊平川雨水貯留管及び雨水分水施設の新設工事(継続)

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その4)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街				
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備				
主 な 取 組 内 容						
施策3	公共施設等の耐震機能の強化					
19年度(実績)			20年度(実績)			
<ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断の実施 6施設(石山児童会館など) ●耐震化事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 一般施設の耐震改修、建替 4施設(北区役所別館など) 学校の耐震改修、建替 28校(中央小学校など) ●北区役所別館耐震改修基本設計 ●豊平区役所・保健センター耐震改修基本設計 ●白菊会館解体工事・改築設計 ●学校施設耐震補強工事 琴似小 ●同設計等 小学校 12校 中学校 10校 特別支援学校1校(山の手養護) ●学校改築及び用地造成 小学校 1校 中学校 2校 ●中央体育館改築立案及び調査 ●中島体育センター耐震改修実施設計 ●大通バスセンター耐震化のための協議 ●橋りょう耐震補強工事 6橋 ●災害時基幹病院へ向かう配水管耐震化工事 4箇所5.54kmのうち 北海道がんセンター 施工延長 0.99km完成 ●下水道施設の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> 地震対策計画の策定、管路耐震化、水再生プラザ耐震化 ●民間建築物耐震化促進 <ul style="list-style-type: none"> 木造住宅耐震診断補助 55戸 木造住宅の耐震化に関する普及啓発(パンフレット作成、相談窓口開設) 耐震改修促進計画の策定(建物実態調査等) 共同住宅構造計算書調査支援(15棟) 構造関係相談窓口開設 			<ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断の実施 5施設(彫刻美術館など) ●耐震化事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 一般施設の耐震改修、建替 3施設(南区役所など) 学校の耐震改修、建替 12校(平岸西小学校など) ●豊平区役所・保健センター耐震改修実施設計 ●南区役所耐震改修基本設計 ●白菊会館(175㎡)建築工事 ●学校施設耐震補強工事 小学校9校 中学校 8校 特別支援学校 1校(山の手養護) ●学校改築、基本設計ほか 小学校 9校 中学校 6校 ●中央体育館改築調査及び建設規模等の検討 ●中島体育センター耐震改修工事 ●大通バスセンター耐震改修実施 ●南消防署庁舎の耐震化改修工事に伴う実施設計 ●橋りょう耐震補強工事 9橋 ●災害時基幹病院へ向かう配水管耐震化工事 8箇所6.25kmのうち 市立札幌病院ほか4箇所 施工延長 4.98km完成 ●下水道施設の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> 管路耐震化、水再生プラザ耐震化 ●民間建築物耐震化促進 <ul style="list-style-type: none"> 木造住宅耐震診断補助 45戸 普及啓発(パンフレット作成、相談窓口開設) 特定建築物、分譲共同住宅の耐震診断補助(予備調査50棟、耐震診断8棟) 普及啓発等(パンフレット作成、相談窓口開設) 			
21年度(実績)			22年度(予定)			
<ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断の実施 6施設(円山動物園【熱帯動物館】など) ●耐震化事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 学校の耐震改修、建替 14校(大倉山小学校など) ●南区役所耐震改修設計 ●豊平区役所・保健センター耐震改修工事 ●学校施設耐震補強工事 小学校11校 中学校7校 ●学校改築、基本設計ほか 小学校20校 中学校4校 高等学校1校 ●中央体育館改築建設規模及び建設地の検討 ●大通バスセンター施設活用検討 ●南消防署庁舎の耐震化改修工事 ●橋りょう耐震補強工事 7橋 ●災害時基幹病院へ向かう配水管耐震化工事 2箇所 2.34kmのうち 札幌厚生病院 施工延長 1.01km完成 ●下水道施設の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> 管路耐震化、水再生プラザ耐震化 ●民間建築物耐震化促進 <ul style="list-style-type: none"> 木造住宅耐震診断補助 35戸 普及啓発(パンフレット作成、相談窓口開設、パンフレットのポスティング) 特定建築物、分譲共同住宅の耐震診断補助(予備調査29棟、耐震診断28棟) 普及啓発等(パンフレット作成、相談窓口開設) 			<ul style="list-style-type: none"> ●耐震診断の実施 5施設(円山動物園【類人猿館】など) ●南区役所耐震改修工事 ●豊平区役所・保健センター耐震改修工事(継続) ●学校施設耐震補強工事 小学校16校 中学校4校 高等学校1校 ●学校改築、基本設計ほか 小学校4校 中学校2校 ●中央体育館改築計画の策定 ●大通バスセンター施設活用検討 ●橋りょう耐震補強工事 9橋 ●災害時基幹病院へ向かう配水管耐震化工事 国立西札幌病院ほか4箇所 施工延長 2.03km ●下水道施設の耐震化 <ul style="list-style-type: none"> 管路耐震化、水再生プラザ耐震化 ●民間建築物耐震化促進 <ul style="list-style-type: none"> 木造住宅耐震診断補助(診断200戸、設計20戸、工事20戸) 普及啓発(パンフレット作成、相談窓口開設) 特定建築物、分譲共同住宅の耐震補助(予備調査30棟、耐震診断30棟、設計3棟) 普及啓発等(パンフレット作成、相談窓口開設) 			
主 な 施 設 、 サ ー ビ ス の 整 備 水 準						
施設(サービス)名	18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(実績)	21年度末(実績)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
防災行政無線	518基	518基	638基	818基		818基

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その5)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備
評価(成果)		課題
施策1	住民等との協働による災害対策	
<p>○防災資機材の助成、防災リーダー研修などによる自主防災活動への支援</p> <p>○簡易型災害図上訓練(DIG)の普及員養成研修などによる体制の整備</p> <p>○災害時要援護者対策の指針となる「札幌市災害時要援護者避難支援ガイドライン」と、取組の手引書となる「災害時支えあいハンドブック」を策定し、市内全町内会などに配布</p> <p>○災害時要援護者避難支援モデル事業の実施(6地区)より、要援護者の避難支援体制を整備し、取組のノウハウなどをまとめた報告書を市内全町内会などに配布</p> <p>○災害時要援護者支援の取組を市内各地域に拡大するため、出前講座やフォーラムなど普及啓発の実施のそれぞれの事業を通じて、住民等との協働による災害対策の取組が着実に進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災資機材の利活用の推進や防災リーダー研修の項目見直し ・ 先進的な取組を行っている団体の事例やノウハウの共有化 ・ 簡易型災害図上訓練(DIG)のさらなる周知と積極的な参加のための工夫 ・ 近年の大規模災害の頻発や高齢化の進展などから、要援護支援の地域主体の取組の効果的・効率的な拡大を図るため、普及啓発活動を継続するとともに、要援護者及び支援者確保するため、地域と関係機関との連携や関係団体等への働きかけなどの取組が必要である。 	
施策2	地域防災力の強化	
<p>○新たな知見に基づく地震動予測及びその結果に基づく被害評価の実施、地震防災マップの作成</p> <p>○「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」(洪水編・土砂災害編)の作成や洪水時の避難情報等の伝達手法の制定、土砂災害ハザードマップモデルパターンの作成</p> <p>○地域に情報発信できるコミュニティFM局に防災行政無線を整備することで災害時の情報連絡体制が強化された。また大規模災害等に有効な伝達システムの整備方針を策定した。</p> <p>○浸水対策だけではなく、合流式下水道の改善にも有効に活用できる豊平川雨水貯留管の工事に着手した。</p> <p>○水防センターの完成</p> <p>○大規模な災害時に備えた緊急貯水槽及び緊急時給水管路整備などの計画的な施設整備等、ソフト・ハードの両面にわたるそれぞれの事業を通じて、地域防災力の強化が着実に進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実践的な危機管理(防災)体制や防災協働社会の確立と地域住民への知識浸透と意識啓発 ・ 積雪寒冷地という地域特性を踏まえた上での費用対効果の高い防災システム等対策の推進 ・ 都市化の進展や局地的な集中豪雨の発生により、浸水の危険性が高まっており、効率的かつ効果的な浸水対策の強化が必要。 	
施策3	公共施設等の耐震機能の強化	
<p>○区役所や学校施設、体育館、消防署等の公共施設</p> <p>○橋りょう、下水道施設、水道配水管等のライフラインの耐震補強</p> <p>○「札幌市耐震改修促進計画」の策定</p> <p>○耐震診断補助等の支援</p> <p>のそれぞれの事業を通じて、公共施設等の耐震機能の強化が着実に進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急性の高い施設以外の公共施設の耐震化 ・ 長い期間と多額の予算を要するライフライン関連施設等への効果的な耐震化実施方法の検討 ・ 民間建築物に対する耐震診断、設計、工事補助等市民への普及啓発が必要 	
今後の重点取組		
<p>災害に強い安全なまちの整備には、自主防災活動の充実を通して地域の防災力を高めることや、公共施設やライフライン、民間建築物などの耐震機能の強化を図ることなどにより、地域住民等と行政との協働による計画的な災害対策を講じることが求められる。</p> <p>しかしながら、施設等ハード面の整備については、長期の時間と多額の予算が必要となることから、各事業における進捗の促進と効果的かつ効率的な事業手法の選択による取組が必要となる。</p> <p>一方、ソフト面の取組については、自助・共助を基本とした「地域力」の向上が不可欠であり、そのためには、市民に分りやすい広報・啓発活動を継続するとともに、実効性のある支援策を推進していく必要がある。</p>		

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画施策進行調書(その6)

政策目標	4	安全・安心で、人と環境にやさしい街																		
重点課題	4	災害に強い安全なまちの整備																		
成果指標等の動向																				
項目1	自主防災組織の結成率(%)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>86.6</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>87.9</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>88.3</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>88.9</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>90.0</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>			年度	値	属性	H18	86.6	現状値	H19	87.9	実績	H20	88.3	実績	H21	88.9	実績	H22	90.0	目標値
年度	値	属性																		
H18	86.6	現状値																		
H19	87.9	実績																		
H20	88.3	実績																		
H21	88.9	実績																		
H22	90.0	目標値																		
項目2	簡易型災害図上訓練(DIG)に参加した人数(人)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>人数</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>1,063</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>890</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>2,271</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>2,047</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>2,500</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>			年度	人数	属性	H18	1,063	現状値	H19	890	実績	H20	2,271	実績	H21	2,047	実績	H22	2,500	目標値
年度	人数	属性																		
H18	1,063	現状値																		
H19	890	実績																		
H20	2,271	実績																		
H21	2,047	実績																		
H22	2,500	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 順調に推移しており、最終年で概ね目標達成見込み																				
項目3	第1次緊急輸送道路における橋りょうの耐震化率(%)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>率</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>68.8</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>75.0</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>93.8</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>93.8</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>100.0</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>			年度	率	属性	H18	68.8	現状値	H19	75.0	実績	H20	93.8	実績	H21	93.8	実績	H22	100.0	目標値
年度	率	属性																		
H18	68.8	現状値																		
H19	75.0	実績																		
H20	93.8	実績																		
H21	93.8	実績																		
H22	100.0	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 5か年全体で見ると目標へ向かって参加者を増やしていると言える																				
項目4	札幌市内の住宅の耐震化率(%)																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>率</th> <th>属性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>82.8</td> <td>現状値</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>85.5</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>			年度	率	属性	H18	82.8	現状値	H22	85.5	目標値									
年度	率	属性																		
H18	82.8	現状値																		
H22	85.5	目標値																		
【実績値の推移に係る検証】 16橋のうち15橋は完了しており、残り1橋も22年度末には完了見込み																				
項目5																				
項目6																				
【実績値の推移に係る検証】																				
成果指標等から見た重点課題の評価																				
<p>災害に強い安全なまちの整備には、自主防災活動等の充実を通して地域の防災力を高めるソフト事業と、被災時の避難場所や応急活動の拠点となる公共施設の計画的な耐震改修などのハード事業の両面から、地域住民等と行政との協働による計画的な災害対策が必要です。</p> <p>この両面からの取組として成果指標等の動向を見ると、昨年度に引き続き札幌市内の住宅の耐震化率(平成20年実施の住宅土地統計調査実施後に把握)を除き、計画どおり順調に推移しており、一定の評価が出来るものと思われま。ただし、簡易型災害図上訓練(DIG)に参加した人数については、開催場所や時期等により左右されるため、平成21年度は、若干参加人数が減少した。</p>																				